

2008(平成 20)年度 基本事業目的評価表

基本事業名 11201 政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

主担当：生活・文化部男女共同参画・NPO室 室長 亀井 敬子

電話：059-224-2225

基本事業の目的

県民、市町、県が、男女共同参画社会の実現に向けて協働で取り組んでいます。

各種データ

目標項目	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	目標達成状況
	下：実績値	上：目標値 下：実績値	上：目標値 下：実績値	上：目標値 下：実績値	上：目標値 下：実績値	
県の審議会等のうち男女のバランスがとれた構成の審議会等の割合	49.4%	53.6% 56.3%	54.8% 51.7%	56.0%	57.3%	0.94
男女共同参画を推進するための基本計画等を策定している市町の割合	58.6%	65.5% 65.5%	69.0% 65.5%	72.4%	75.0%	0.95

	2006	2007	2008	2009	2010
予算額等(千円)	90,201	99,762	98,300	148,712	

2008年度の取組概要

三重県男女共同参画推進条例及び三重県男女共同参画基本計画に基づき、三重県男女共同参画審議会が男女共同参画施策の推進に対する評価を行い、知事へ提言を行いました。また、県の男女共同参画施策の実施状況について年次報告をまとめ、議会に報告するとともに県民に公表しました。

県の審議会等のうち男女のバランスがとれた構成の審議会等の割合を増やすため、「男女共同参画の視点で進める三重県附属機関等への委員選任基本要綱」に基づき庁内に働きかけ、女性委員の登用促進を図りました。

男女共同参画に関する市町の取組を促進するため、市町担当職員を対象に研修会を開催するとともに、基本計画未策定町を訪問し、啓発事業の実施や広報協力等、県の支援メニューを提示して、事業実施について聞き取りを行いました。

女性の就業を始めとする社会参画を総合的に支援する拠点施設である「みえチャレンジプラザ」において、引き続きチャレンジ相談や情報提供、専門機関の紹介など個人の状況に応じた女性のチャレンジ支援を行うとともに、就職を希望される場合は国のマザーズサ

ロンとも連携して支援を行いました。

また「三重県チャレンジ支援推進連携会議（みえチャレンジネットワーク）」において、情報共有や意見交換、シンポジウムなどを行いました。さらに、チャレンジサポーターにより、地域におけるチャレンジ支援の普及、男女共同参画を推進するための情報収集や情報提供および県内でチャレンジ支援を行っている機関の情報や身近な女性のチャレンジモデルを紹介する事例集の発行などを行うとともに、インターネットで情報を提供する「みえチャレンジサイト」の運用などにより、女性のチャレンジの気運を醸成しました。

評価（成果や課題、その要因）

三重県男女共同参画基本計画に基づき、県の男女共同参画施策を総合的、計画的に推進していますが、平成22年度に計画期間が終了するため、基本計画の改定に向けた取組を進める必要があります。

県の附属機関のうち、男女のバランスがとれた構成の審議会等の割合は目標に達しませんでした。委員等への女性の登用率は毎年徐々に上がってきています。委員選任にあたっては「男女共同参画の視点で進める三重県附属機関等への委員選任基本要綱」に基づき選任されるよう、三重県男女共同参画推進会議幹事会などを通じて、庁内に一層働きかける必要があります。

地域における男女共同参画の取組を促進するため、情報提供や広報協力など、市町における基本計画等の策定に向けた支援を引き続き行う必要があります。

個人の状況に応じた支援やネットワークでの活動、地域におけるチャレンジサポーターの活動などにより、女性のチャレンジ支援の気運の醸成がはかれましたが、急激な雇用情勢悪化により増加している女性離職者に対する相談・支援を行う必要があります。

2009年度の取組方向

三重県男女共同参画審議会において、県の施策の推進状況や男女共同参画基本計画に掲げる目標の達成状況を検証し、男女共同参画基本計画改定に向けた取組を進めます。

第三次実施計画の推進をはかるため、年次報告等による進捗管理や男女共同参画審議会からの評価・提言に対してとりまとめた取組みについて着実に実施します。

地域における男女共同参画の取組を促進するため、市町が必要とする情報の収集・提供に努めるとともに、基本計画未策定町との連携・協働による取組を進め、基本計画策定に向けた支援を行います。

女性のチャレンジ支援について、引き続き各事業の充実を図るとともに、女性離職者に対する就業相談などの支援を国や市町と連携して実施します。

構成する事務事業

事務事業名	事業目的	予算額等 (千円)
A 男女共同参画連絡調整事業 男女共同参画・NPO室	三重県男女共同参画審議会による外部的な評価を実施することにより、効果的な施策展開につなげます。また、年次報告を作成し、施策の実施状況を公表することにより、広く県民に情報提供を行うとともに、各部局に対し働きかけていきます。 市町における基本計画の策定を促進するため、研修など必要に応じた支援を行います。 三重県男女共同参画推進会議等を開催することにより、庁内の連携を深めるとともに、内閣府や他県との連携交流により、さまざまな情報の収集およびノウハウの修得に努めます。	2,514
B(重)チャレンジ支援ネットワーク事業 男女共同参画・NPO室	女性のチャレンジを支援する取組や事業を行っている機関や団体が、女性のチャレンジを支援する情報や資源を持っていても、女性のチャレンジ支援につながる取組や事業であるということを意識せず、それぞれが連携なくばらばらに事業展開しているという状態を、支援情報等を一元化し、集約・情報共有することにより、連携・協働して、女性のチャレンジを支援する取組を推進しているという状態にします。	2,560
C(重)チャレンジ支援センター事業 男女共同参画・NPO室	意欲や能力のある女性や高齢者が、就業をはじめとした社会参画に踏み出すことにより、地域社会の活性化や一人ひとりが豊かさを感じられる社会づくりをすすめます。	16,550
D(重)チャレンジサポーター連携事業 男女共同参画・NPO室	地域における女性、地域社会が、チャレンジしたい人の力が十分に活かされておらず、また地域経営の観点が乏しいという状態を、一人ひとりの人間力を引き出し、地域力を高め、地域における男女共同参画社会の実現につながっているという状態にします。	1,906
E 男女共同参画センター管理運営 文化振興室	男女共同参画社会の実現に向けて、県民、市町と協働で取り組むため、三重県男女共同参画基本計画の趣旨に沿った男女共同参画センターの管理運営を行います。	74,770
F 教職員研修事業(再掲) 研修指導室	県内の公立学校教職員が、次代を担う子どもたちに「生きる力」を身につけさせるために、教科等や今日的教育課題の実践的指導力の向上を図ります。	56,305
G 人権相談事業(再掲) 人権センター	生活上で生じる様々な人権問題を抱える県民からの相談に対して適切に対応出来るように、相談機関相互の連携がはかられ、一人ひとりの悩みや問題について、個人情報が多配慮されつつ、身近で相談者の立場に立った相談が受けられるように取り組んでいます。	8,215
H 人権研修事業(再掲) 人権センター	人権施策を推進していくためには、「人権県宣言」「人権が尊重される三重をつくる条例」などの趣旨に沿って社会全体で取り組むことが重要です。 当該事業は、民間企業などにおいて企業が自主的に人権の研修に取り組んでいただけるよう、研修用教材を作成します。	363
I 職員研修センター費(再掲) 職員研修センター	県職員が、職務を遂行するにあたって必要な知識や技能等を有するとともに、自ら能力開発を行っている。	38,980
J 人事管理事務費(再掲) 人材政策室(総務)	人材育成を支えるしくみとして、能力や実績に基づく人事システムの整備を進めるなど、組織力の向上に向けて、県職員一人ひとりが、その意欲と能力を最大限に発揮できる環境づくりを行う。	50,182